

事例1



事例の概要

「命綱GO活動」の一環として、二重安全帯の使用の教育と熱中症事前撲滅活動を目的に「二重安全帯試行ゲート」を設置しました。作業所職長会と職員が一体となり取り組んでいます。

事例2



事例の概要

「指差呼称」活動の一環として、現場内の注意箇所に見える化し、活動の活性化を促した。

事例3



事例の概要

朝礼場に社内で起こった労働災害情報が見える化し、作業員の災害防止に関する意識を高めた。

事例4



事例の概要

日々の安全衛生巡回の結果写真を朝礼場に見える化し、現状の問題点を作業員がリアルタイムで確認できるようにした。

事例5



事例の概要

熱中症対策の事前予防として、朝礼場に温度・湿度計とWBGT値と気温の相対関係を見える化した。

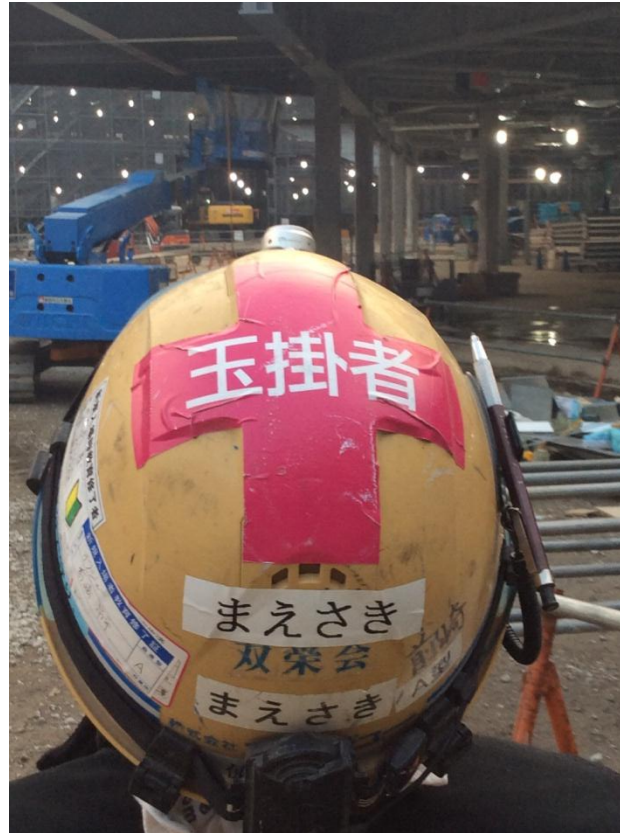
事例6



事例の概要

鉄骨建て方工事等の危険作業に従事する際に「立入禁止」を見える化し、第三者の巻き込まれ災害を防止した。

事例7



事例の概要

幼獣作業を行う際に、有資格者であることを周囲にも明確にすることで、より連携の取れた作業を確立した。

事例8



事例の概要

周辺住民にも安全作業に従事しているという安心感を与えることと同時に、作業員の安全へのモチベーションを高めることにも貢献した。

事例9



事例の概要

作業員から標語を募集し、作成した。作業員一人ひとりの想いを見える化することで、作業所全体の安全への意識を高めた。

事例10



事例の概要

重機周りにピンク色のリボンテープで立入禁止エリアを見える化することで、重機災害の防止に貢献した。

事例11



事例の概要

毎日、職長会が安全パトロールを行い、危険箇所等をタイムリーに是正することで安全環境を向上させた。